

よくある日常英語表現の間違い

Stephen Walls(スティーブン・ウォールズ) アメリカ、NY州出身。東京都在住。専攻は人文科学、経営学。大手企業の英語研修の他、都内有名私立の中学・高校での英語教育者の指導に携わる。クラブエールでは長年、グループレッスン、セミナー、イベント、電話英会話レッスンや新人教師育成などに携わっている。



日本の方が間違いやすい英語の表現を、Q&A形式で解説します

(病気が)流行っている

Q 「インフルエンザが今、とても流行っている」

次のうち、正しい英語表現はどれでしょうか？

A: Influenza is prevalent now.

B: Influenza is popular now.

C: Influenza is in fashion now.

D: Influenza is common now.

簡単な文章ですが、意外に間違える人が多いです。

A 正解はAとD

A: Influenza is **prevalent** now.

D: Influenza is **common** now.

prevalent は「蔓延している、普及している、一般的に広がっている」という意味です。

- An anti-war opinion is **prevalent** today.
(戦争反対の意見は今日、広く広まっている)

common は「一般的な、どこにでも、見られる、よくある、ごく普通の」という意味です。

- There is no cure for the **common** cold.
(ごく普通の風邪の治療法はない)

B、Cのような間違いをしがちな理由は、日本語の「流行る」という言葉が、良い意味で「人気がある」というように使われるからです。病気などの時にも、つい使ってしまうがちです。

B の **popular**、D の **in fashion** を使った、正しい文例をあげます。

- France is a **popular** tourist destination.
(フランスは観光客に人気のある旅行先です)
- Designer brands are always **in fashion** and are highly coveted.
(デザイナー・ブランドは常に流行し、追従する人が多い)

